

平時の知識を有事の力に 組織のノウハウを災害支援へ

— 今、私たちの組織に何ができるのか？ —

無料

10
0

気づこう！ 災害時の 役割発見 研修会

【参加対象者】
企業・NPO 法人
ボランティア団体
個人等

2026年

2月17日(火)

18:30~20:30

愛の夢未来センター

(長崎県雲仙市愛野町乙526番地1)

あなたの組織のノウハウが、災害時の力になる！

「災害時、自分たちには何もできない…」そう思っていませんか？

実は、あなたの会社や団体が普段行っている業務こそが、災害支援の重要な役割を果たします！

物流業は物資輸送、飲食業は炊き出し、IT 企業は情報発信、教育機関は避難所運営…。業種や規模を問わず、それぞれの専門性を活かせる場面があります。この研修では、自分たちの強みを活かして、どんな支援ができるのかを考え、実践的な防災力を高めます。

災害はいつ起こるかわかりません。事前の気づきと準備が、いざという時に大きな力になります。

今だからこそ、できる準備を！平時の今だからこそ、自分たちにできることと一緒に考えてみませんか？

★お申込みは電話、FAX、メールまたは右のフォーム

<お申込み・問い合わせ>

Fine ネットワークながさき(県民ボランティア活動支援センター)

TEL. 095-827-4852 FAX.095-832-8624

E-mail:nagasaki-vc@cap.ocn.ne.jp

お申込みフォーム→

<申込締切>

2月15日(日)



気づこう！ 災害時の役割発見研修会

<講師のご紹介>



KAMIMOTO KOZUE

神元 幸津江

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 事業部リーダー

大学卒業後、外資系メーカーで営業職に従事。東日本大震災直後から都内のボランティア・市民活動センターに勤務、被災者支援に関わる。2019年 JVOADに入職。災害時に、多様な支援関係者と連携し、必要な支援の調整を図るために、平時から他セクターとの関係性作りに務めている。



HIGUCHI TSUTOMU

樋口 務

特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク／代表理事

大分県出身。建設コンサルタントにてインフラの設計業務等に従事の傍ら、2001年よりNPO法人「NPOくまもと」に所属。熊本市市民活動支援センターの総括責任者等を経験し、市民活動の基盤整備の推進及びNPOと他セクターとの連携のためのコーディネーションの企画立案を手掛ける。2016年の熊本地震発災直後から、「熊本地震・支援団体火の国会議」等を運営し、災害における行政・社協・NPOの連携を推進する。同年10月NPO法人「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)」を設立し、現在に至る。



YAMADA KENICHIROU

山田 健一郎

一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム 共同代表

東日本大震災の被災地支援活動から始まった「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」を経て県外では熊本地震、県内では2019年からの度重なる佐賀豪雨災害の支援活動をしながら法人化を行い、「一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)」の共同代表を務める。県内外の被災地に「人・もの・金・情報」の資源循環と支え合いの仕組みづくりを行う県域の災害中間支援組織として活動する。休眠預金事業連携では「九州防災減災対策協議会(九災対)」を長崎をはじめとした九州各県の災害支援団体とコンソーシアムを組み、九州の繋がりと支援の仕組みづくり等を行う。

| | |
|---------------|--|
| 団体名 | |
| 団体住所 | |
| 活動内容(災害時に限らず) | |
| 参加者氏名 | |
| 参加者氏名 | |
| 参加者氏名 | |
| TEL | |
| FAX | |
| E-Mail | |
| 事前質問 | |

参加申込 FAX:095-832-8624

お申込締切日:2026年2月15日(日)

■申込先 県民ボランティア活動支援センター

長崎市出島町2-11 出島交流会館5階

TEL. 095-827-4852 E-mail:nagasaki-vc@cap.ocn.ne.jp

この研修会は、「内閣府・令和7年度 官民連携による被災者支援体制構築事業・モデル事業」の一環として実施しています。